

部活動等における感染症対策の徹底による 子どもたちの安全・安心に向けて

- 新年度が始まり、各学校では本格的に教育活動が展開されています。こうした中、部活動や少年団活動等において、新型コロナウイルス感染症が拡大したと考えられる事案も複数発生しています。
- これからゴールデンウィークを迎え、練習や対外試合等の機会の増加が見込まれることから、部活動等の関係者で構成する「部活動・クラブ活動・少年団活動等感染症対策連携会議」では、子どもたちが部活動等に安心・安全に取り組むことができるよう、次の事項について、重点的に取り組むこととしました。
- 児童生徒の皆さん、保護者の皆様、各学校の関係者の皆様、部活動等に関連する各種機関・団体におかれましては、日常の部活動・クラブ活動・少年団活動等はもとより、大会等においても、感染症対策の徹底を図っていただきますようお願いいたします。

【部活動等での感染拡大防止に向けて、次の対策を徹底しましょう】

- 1 潜伏期間と発症間隔が短いことなどオミクロン株の特徴を踏まえ、周囲に感染者がいたとしても感染しないよう、自身が感染していたとしても感染させないよう、手洗いや手指消毒、マスクの着用、「密集・密接・密閉」の回避など感染症対策のより一層の徹底を図ること。
- 2 控え室や更衣室等において密にならないこと、マスクなしで、あるいはマスクを正しく着用せず会話しないこと、換気を十分行うことを子どもたちに周知し、徹底すること。
- 3 日頃から子どもたちに日々の体調の把握や行動管理への注意を促すとともに、基本的な感染症対策の指導を行うこと。
- 4 風邪等の症状がある場合や家族に未診断の風邪等の症状がある場合は、子どもたちが指導者に遠慮なく申し出ることができるようにするなど、安心して休養できる環境づくりに努めること。
- 5 競技団体等が作成したガイドラインや、大会主催者が作成した大会における感染症対策等を厳守すること。
- 6 感染に不安を感じるときは、ワクチン接種の有無にかかわらず、検査を受けること。（無症状の方、濃厚接触者以外の方に限る。詳しくは道のホームページの「PCR等検査無料化事業」を参照してください。）

令和4年（2022年）4月26日

部活動・クラブ活動・少年団活動等感染症対策連携会議

【構成団体】

北海道、札幌市、北海道教育委員会、札幌市教育委員会、北海道小学校長会、北海道中学校長会、北海道高等学校長協会、北海道特別支援学校長会、北海道私立中学高等学校協会、北海道中学校体育連盟、北海道高等学校体育連盟、北海道高等学校定時制通信制体育連盟、北海道高等学校文化連盟、一般財団法人北海道高等学校野球連盟、日本私立大学協会北海道支部、公益財団法人北海道スポーツ協会、北海道文化団体協議会、北海道吹奏楽連盟